

ヒトやモノが動くって
どういうこと？

動くヒトとモノ

どこで作ったの？



どこで採れたの？



どこから来たの？



2017
5.16 (火) → 9.3 (日)

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

〒759-6121 山口県下関市豊北町大字神田上 891-8 TEL: 083-788-1841 FAX: 083-788-1843

ご利用案内

開館時間 9:00 ~ 17:00
休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)
観覧料 一般 200 (160) 円
大学生等 100 (80) 円

* () 内は 20 人以上の団体料金
* 観覧料が無料となる方
高校生以下、下関市・北九州市の 65 歳以上、70 歳以上、療育手帳・身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳 (項症) の交付を受けられた方と付添人 1 名 (身体障がい者の場合は 1 級から 4 級、戦傷病者の場合は特別項症から第 4 項症)

アクセス

鉄道 & バス JR 山陰本線 長門二見駅下車 → 肥中ゆきバス (約 20 分)
→ 「土井ヶ浜」下車 → 徒歩 3 分
自動車 下関 IC・小月 IC から約 60 分 / 美祢 IC から約 50 分

クロスワードに挑戦!

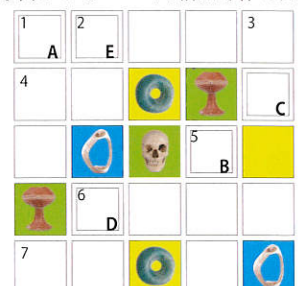
問題 弥生時代、ヒトは広い範囲を移動し、モノも一緒に運ばれていきました。ヒトが各地を行きかい、入り交わることを何というのでしょうか? (答えは展示のテーマです)

タテのキー

- 丸いお金
- モーと鳴くどうぶつ
- 桃〇〇三年、柿八年
- 体を浮かせるための道具
- 冬に降る白いもの

ヨコのキー

- 発掘調査でみつけた昔の道具や昔の人の生活のようすを研究する学問
- 砂よりも大きい鉱物
- 小指でする約束
- 粘土で作った古代の焼物



こたえ: A B C D E
解答はミュージアムで!

動くヒトとモノ うご 2017. 5. 16(火) → 9. 3(日)

今回は、土井ヶ浜遺跡発掘調査報告書の成果の中から、「とらしいけい渡来系弥生人」と言われる土井ヶ浜遺跡の弥生時代人骨と、他地域との関係の深い出土遺物の展示を通じて、ヒトとモノの“動き”をご紹介します。



イモガイ腕輪



台付注口土器



アマゾナイト製小玉



双線7弧文鏡

ギャラリートーク

日程 ①7月30日(日)

②8月13日(日)

③8月27日(日)

時間 11:15→11:45

担当学芸員が展示をわかり

やすく解説します

(観覧料必要・申込み不要)

会期中のその他イベントのご案内 (お申し込みは、人類学ミュージアムまで)

自然人類学体験講座 「ホネホネウォッチング」

日程 ①6月25日(日)

②7月23日(日)

③8月6日(日)

時間 13:30→15:30

定員 各15名(中学生以下)

*詳しくはHPへ

体験学習講座 「貝輪づくり」

日程 8月27日(日)

時間 13:30→16:00

定員 15名

*小学生以下は保護者同伴

*二枚貝を使って弥生時代の腕輪を作ります

当館の名誉館長による 自然人類学講座

日程 8月20日(日)

時間 13:30→14:30

定員 20名程度(中学生以上)

*考古学の発掘調査によって出土した人骨の研究成果について、お話しします

アクセス

鉄道&バス JR山陰本線 長門二見駅下車→肥中ゆきバス(約20分)
→「土井ヶ浜」下車→徒歩3分

自動車 下関IC・小月ICから約60分/美祿ICから約50分
国道191号沿いの看板を西へ曲がり、450m先のT字路を右折

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

〒759-6121 山口県下関市豊北町神田上 891-8 TEL 083-788-1841 FAX 083-788-1843

